

# ITビジネスモデル委員会報告

## その4

日本ヒューレットパカード株式会社 プレゼンテーション

講師 1.HP ビッグデータ戦略

テクノロジーコンサルティング事業統括ポートフォリオ本部ソリューション推進部 ポートフォリオリード  
中野 理恵子 様

2.データベース管理システムHP VerticaAnalytics Platform

テクノロジーコンサルティング事業統括プリセールス本部インフラストラクチャソリューション部  
コンサルタント  
諸橋 涉 様

3.日本市場におけるビッグデータビジネスの展開

エンタープライズサービス事業統括エンタープライズサービスストラテジックポートフォリオ統括本部  
エグゼクティブコンサルタント  
内藤 剛 様

2014. 10. 8(水) 日本HP本社ビルにて

# プレゼン内容のポイント

## 1. HPのビッグデータ戦略

- ・今後、各種データの量は飛躍的に増大する(2020年には40Zbyte)
- ・このビッグデータとのつきあい方を変えることで、ITの在り方を変えることができる時代になっていることに気づいたものだけが先駆者のメリットを享受できる。
- ・現状を分析し、異変を察知し、近未来の予測を行う事が必要であり、HPは自身の巨大なITインフラと大量のデータ処理量を利用して、HPのテクノロジーショーケースとなる
- ・ビッグデータの膨大なデータを、HPは「HAVEn」プラットフォームを利用して「後知恵」から「先見の明」へ非構造化データも含んで分析する

## 2. データベース管理システム(HP Vertica Analytics Platform)

- ・あらかじめ圧縮とソートを行い列配置されたデータを超並列で読み取ることによる高速な検索を実現するリレーショナル・データベース管理システム

## 3. 日本におけるビッグデータビジネスの展開

- ・お客様の声をビジネスに生かすソーシャルマーケティング  
ツイッターのコメントを集めるだけではダメ。競合比較で相対評価をしたり、評判を指標化・可視化して追跡をしなければ有効なデータにはならない。

- ・CRMの延長で顧客接点の強化を図る
  - Web画面の最適化で売り上げ向上
  - マーケティング施策を評価する仕組みが重要
- ・データサイエンティストの育成と組織作り
  - IPAはこれまでのスキル標準を複合的に活用できるよう、CCSF(共通キャリアスキルフレームワーク)を発表し、その普及促進を進めている。
  - データ分析は試行錯誤の繰り返し

## オフィスツアー

5年前に建てられたという江東区大島の本社ビルを見学

- ・最新のプリンタ技術について説明を受けた。最近では様々なもののラッピングに使用されている事例を見学した。(配達用バイク、クッション等)  
また、大きな垂れ幕の印刷も可能。
- ・事務所は殆ど全てがフリーアドレス、ロッカーも個人持ちはなく4日以上、同じロッカーは使用できないと、徹底しているのには驚き。
- ・ビル内の業務遂行の環境は充実しており、どこでも仕事ができ、どこにいても連絡が取れるようになっている。

- ・食堂はもちろん自動計算、カロリーも表示されるようになっており健康管理にも役立っているが価格はさほど安くないとの事。
- ・食堂の一部はイベントができるほど広く、半沢直樹のTV撮影も、ここで行われたとの事。TVで使われた場所がいくつかあり、その場所だけは撮影が許されていた。
- ・データセンターは免震床が採用されており耐震は充分。入室だけでなく退室も許可を得た人でなければできない構造になっている。

## 各委員からのご意見

- ・データセンターの耐震はできているが、ビル全体の耐震はどうなっているのだろうか
- ・ビッグデータは全世界35万人の社員からスタートしているのがわかった
- ・オフィス環境は、社員のモチベーションが上がると思われる。どこでも仕事ができるのは素晴らしい
- ・ビッグデータに対してどう対応したら良いのか、手法が見えてきたように思う
- ・自分たちのノウハウをどう溜めていくかがポイントか
- ・ビッグデータを分析した結果をどうビジネスに結びつけていくかの目標が重要
- ・ビッグデータはコンサルティングから始め、試行錯誤で進めていく必要がある
- ・コンサルティングでは費用は貰えないので、その間の費用の扱いをどうするかが課題

## 感想1

日本ヒューレット・パカード(株)を訪問、オフィスツアーとビッグデータセミナーが開催された。オフィスはエントランス中心部が最上階(8階)まで吹抜けになっていて壁面には社長賞受賞者の巨大なパネルが飾られていた。

2013年パソコンシェア(世界2位、米国1位)に相応しい素晴らしいアメニティが目立った。社員5000名に対してフリーアドレス対象者75%、固定席は原則役員及び派遣社員との事、本部長クラス及びスタッフ総務経理においてもフリーアドレスが採用されている。書類のデータ化が徹底されていて紙データは皆無。更に個人ロッカーが無い環境で原則私物NG。

1日平均3300名が出社、営業は直行直帰が原則で都内中心部にサテライトオフィスが設置されていて外出先での業務効率をアシストしている。

定員2700名の食堂は圧巻、随所にセキュリティーワイヤーが用意されており、単なる食事場所だけではなく会議、商談、また和室もありパートナーとの懇親会等々フルタイム有効利用されている。コスト&効率を優先したオフィスからHPの強さの一部を知ることが出来た。

ビッグデータセミナーは(1)ビッグデータ戦略(2)データベース管理システム(3)ビッグデータ顧客事例について説明頂いた。HPワールドワイド社員35万人、メールボックス45万、運用サーバ4万台超の大きなインフラからの情報を有効活用、ITコンセプトは社員の経験を商品開発につなげお客様へのフィードバックを目標としてHPが成り立っている。事例紹介では講師自身の担当案件を含めたリアルな内容で良く纏まっていた。

データを

①ビッグorスモール

②構造データor非構造データ

として捉えた特性に合わせた分析が良く理解できた。特にビッグ & 非構造データでは家電量販店のVOCを製品に活かしている事例。スモール & 構造データはWeb最適化をベースに金融、化学製品、運輸業の事例について説明いただいた。数億円の売上向上に繋がった事例もあり大変参考になった。

## 感想2

HP本社ツアーに関して全館全てフリーアクセスに関しては非常に感心した。弊社でも大手営業部門の一部に関してはフリーアクセスとなっているが、業務部門/技術部門に関してもフリーアクセスを採用し、業務上支障がない点は今後の、社内での展開に関しても参考になった。

また、仕事を実施する環境が非常にゆったりとしており生産性が高まる工夫を様々実施している点もすばらしい事業所だと感じた。

ビックデータに関して、構造化データに関しては我々また顧客でも活用を検討している所が多いが、SNS等から収集される非構造化データの活用はまだまだ進んでおらず、現状では、うまく活用するのは困難であると言う点は理解できました。

ビックデータの活用を顧客に提案するにはコンサルティングが必須である点はセミナーから感じましたが、そのビジネス化はハード等のインフラ周り以外は現状むずかしく、どのようにビジネス展開を進めるか、考えさせられたセミナーだった。

## 編集後記

- ・今回は5年前に新設された江東区大島のHP本社にお邪魔して、オフィスツアーおよびビッグデータに関するプレゼンを頂きました。  
オフィスは冒頭にも書いたように、素晴らしい環境で、これなら仕事も効率よくできるのではないかと言うのが参加の皆さんの感想でした。これまでの職場とは全く異なり、個人のロッカーも小さいものしかありませんし、固定的には使えません。ここまでしないと多分、紙の文化は無くならないのではないのでしょうか。
- ・ビッグデータのプレゼンでは、何をどう分析するか、というプロセスが判りやすく解説されると共に、如何に事前のコンサルが重要か、また分析を実施するためには、試行錯誤の繰り返しが必要である旨のお話を聞き、ビッグデータ分析をビジネスに結びつける迄のプロセスは、その手法が大事であるという印象を持ちました。

尚、本プレゼンの資料は 下記URLからダウンロード出来ます(会員限定)

<https://www.jcssa.or.jp/memberJCSSA/dl2.php>  
(但し会員のページ経由でID/パスワードが必要)

以上